

■ おすすめ散歩コース

●森下散策コース 所要時間 1時間30分

森下駅→⑥深川神明宮→⑤芭蕉記念館→①新大橋→③芭蕉庵史跡展望庭園→④芭蕉稲荷神社→②萬年橋→⑧田河水泡・のらくろ館（森下文化センター）→森下駅

■ ひとくちメモ

深川八郎右衛門

今からおよそ四百年の昔、現在の深川一帯は葦の生い茂る三角州で、住む人はありませんでした。その頃、深川八郎右衛門（摂津の人と伝えられています）という人がこの地へ移り住み、土地の開拓に着手しました。古記録によると、徳川氏の関東入国から間もない慶長元年（1596）、徳川家康公が当地を巡視の折、八郎右衛門を召して地名を尋ねたそうです。八郎右衛門が「まだ住む人も少なく、地名もない」と答えると、家康公は八郎右衛門の姓「深川」を採って「深川村」とするよう命じました。そして、開拓の功績により八郎右衛門を深川村の名主に任じました。

松尾芭蕉

江東区は、我が国の文学史上偉大な業績を留めた松尾芭蕉「ゆかりの地」です。芭蕉は、延宝 8 年（1680）それまでの宗匠生活を捨てて江戸日本橋から深川の草庵に移りました。そして、この庵を拠点に新しい俳諧活動を展開し、多くの名句や『おくのほそ道』などの紀行文を残しています。この草庵は、門人から贈られた芭蕉の株が生い茂ったところから「芭蕉庵」と呼ばれ、芭蕉没後、武家屋敷内に取り込まれて保存されましたが、幕末から明治にかけて消失しました。大正 6 年（1917）の大津波の後、常盤一丁目から「芭蕉遺愛の石の蛙」（伝）が出土し、同 1 0 年に東京府は、この地を「芭蕉翁古池の跡」と指定しました。

■ 深川発祥とは

「森下商店街」「高橋高盛会」「高ばしのらくろ〜ド」「深川資料館通り」「清澄通り会」の五つの商店街の人々が、深川という地名の由来となった『深川八郎右衛門』を再認識し、愛すべき「深川」を多くの方々に知っていただき楽しんで頂こうという趣旨のもとに集まって作った地元応援団が「深川発祥」です。

■ 深川七福神めぐり

七福神めぐりは、七つの福神を祀る神社・仏閣に詣でると、天変地異、火災、盗難など、七つの災害を消除し、七つの福徳をかなえてくれるものとして親しまれ、信仰されてきました。

● 寿老神（延命長寿）深川神明宮

神明宮の創設の年代は不明ですが、深川八郎右衛門の開拓の際に以前からあった小祠に、後土御門天皇宸筆の「大神宮」の三字の短冊を神体として、村の鎮守として建立したものとわれています。（森下1-3-17）

● 布袋尊（清康度量）深川稲荷神社

創立は寛永 7 年（1630）です。この付近の旧町名を西大工町と称したので、西大工稲荷とも呼ばれます。布袋尊が祭祀されています。（清澄2-12-12）

● 毘沙門天（勇氣授福）龍光院

浄土宗。はじめ、馬喰町（中央区）に創立されましたが数回の火事にあい、天和 2 年（1682）現在地に移転してきました。その時、鬼門除けとして境内東北角に毘沙門天を祭祀したといわれます。（三好2-7-5）

● 大黒天（有福蓄財）円珠院

日蓮宗。大黒天は創立の頃から祀られていたと伝えられ、江戸時代から深川の大黒様として有名です。（平野1-13-6）

● 福祿寿（人望福德）心行寺

浄土宗。この寺は、元和 2 年（1616）に八丁堀（中央区）に創立され、寛永10年（1633）にこの地に移りました。有名な錦帯橋を架橋した吉川広嘉の妻、養源院の開基です。（深川2-16-7）

● 弁財天（芸道富有）冬木弁天堂

材木商冬木直次が江戸初期、近江竹生島弁財天の分霊を日本橋茅場町の邸内にまつり、孫がこの地に移したといわれています。（冬木22-31）

● 恵比須神（愛敬富財）富岡八幡宮

「深川八幡祭り」が有名で、3年に一度本祭りが催され、五十数基の神輿に水を掛けながら練り歩く連合渡御は勇壮無比。あでやかな辰巳芸者の手古舞や粋な鳶頭衆の木遣りが江戸の情緒を盛り上げます。（富岡1-20-3）

■ 歳事記

1月	1日	・初詣（各神社・仏閣） ・深川七福神めぐり
2月	3日	・節分（豆まき）
3月	下旬	・桜まつり（常盤一、二丁目周辺）
5月	上旬	・のら天市場（高ばしのらくろ〜ド）
7月	上旬	・森下朝顔市 産地直送の新鮮野菜の無料配布があります。 金魚すくい・ヨーヨー釣り等の屋台も出てにぎやか！
8月	中旬	・深川神明宮祭（深川神明宮） 下記参照
10月	12日	・時雨忌（芭蕉庵、芭蕉記念館） 深川に住み、多くの名句を残した松尾芭蕉を偲びます。
11月	下旬～12月上旬	・のら天収穫祭（高ばしのらくろ〜ド）
通年	日曜日・祝日（雨天中止）	・歩行者天国（高ばしのらくろ〜ド）

■ ちょっと足をのばせば

A 清 澄 庭 園 清澄3-3-9 03-3641-5892 広大な池を囲んで、大小島々の配置の景観が美しく、都内随一といわれる名石奇岩に恵まれた、四季を通じて眺望の良い庭園です。	
B 深川江戸資料館 白河1-3-28 03-3630-8625 地下1階から地上2階までの吹き抜け空間に、江戸時代末(天保年間を想定)の町並みや庶民の生活ぶりを再現しています。 ▲詳しくは 清澄白河MAP を御覧ください	
C 富岡八幡宮 富岡1-20-3 03-3642-1315 「深川八幡まつり」が有名で、3年に一度本祭りが催されます。深川にまつわる史跡が多く残る神社です。	
D 深川不動堂 富岡1-17-13 03-3641-8288 この辺りは門前町として江戸の情緒を色濃く残しており、納めの不動(12月28日)や縁日には多くの人で賑わいます。 ▲詳しくは 門前仲町MAP を御覧ください	

■ おみこし（深川神明宮）

森下駅周辺は深川神明宮の氏子にあたります。3年に一度の本祭りには氏子各町の12基の大神輿が行列を組んで連合渡御をします。「勢揃い」ともいい、例大祭期間中の日曜日に行います。巡幸路は、早朝猿江橋の手前に集合し、高橋商店街を西進して、神明宮烏居前で各町神輿を差し上げます。さらに萬年橋通りまで進み、北上して新大橋・千歳に入り、午後は清澄通りを南下して森下交差点に出ます。大締めは12基の町神輿が大通りに並び、担ぎ手・参詣人共々一万人で手を締めます。

「水掛祭り」と言われるように、沿道から担ぎ手に勢いよく清めの水を掛ける勇壮な祭りです。掛け声は伝統的に「ワッショイ！」です。
次回の本まつりは平成24年8月予定。



■ 名所・旧跡

① 新大橋

しんおおはし



直線を生かした幾何学模様が今日のでたいへん美しく、下流の清洲橋とともに「新東京百景」の一つとなっています。

新大橋 1 丁目

② 萬年橋

まんねんばし



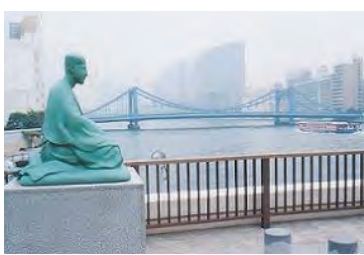
江戸時代には、近くに船の出入りを監視する船番所や芭蕉の住んでいた深川芭蕉庵がありました。

常盤 1 丁目

清澄 1 ・ 2 丁目

③ 芭蕉庵史跡展望庭園

ばしょうあんしせきてんぼうていえん



隅田川と小名木川に隣接し、四季折々の水辺の風景が楽しめます。午後10時までライトアップされていて、隅田川の遊歩道からご覧になります。

常盤 1-1-3

④ 芭蕉稲荷神社

ばしょういなりじんじや

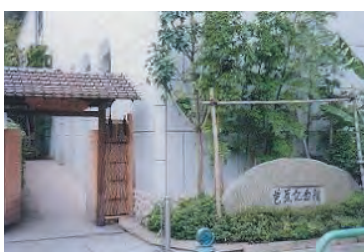


芭蕉稲荷は、大正 6 年に地元の人たちの手で祀られたもので、境内には、芭蕉庵跡の碑や芭蕉の句碑があります。

常盤 1-3-12

⑤ 芭蕉記念館

ばしょうきねんかん



新大橋と清洲橋が望める隅田川のほとりにあり、館内には芭蕉に関する文献、資料が多数揃っています。

常盤 1-6-3

電話03(3631)1448

⑥ 深川神明宮

ふかがわしんめいぐう



深川七福神：寿老神（延命長寿）
深川において創立の最も古い神社です。大坂摂津から来た深川八郎右衛門が、この付近に、深川村を開拓しました。

森下 1-1-17

⑦ 森下文化センター

もりしたぶんかせんたー



地域の方々とともに語り合う場、学び合う場として利用できる江東区の文化センターの一つです。

森下 3-12-17

電話03(5600)8666

⑧ 田河水泡・のらくろ館

たがわすいほう・のらくろかん



「のらくろ」の生みの親、八代将軍吉宗公の時代、「江戸町火消いろは 4 8 組、本所深川南・中・北 1 6 組」で纏が構成された折に、当地深川発祥の森下の地を火事などの災難から守るために、「深川中組内7組（しちのくみ）」の纏としてつくられたものです。

森下文化センター内

⑨ 伊東深水・関根正二紹介展示コーナー

いどうしんすい・せきねしょうじ



共に深川で育ち、深い友情で結ばれていた 2 人の芸術家（画家）の対照的な生き方と作品をパネルで紹介しています。

森下文化センター内

⑩ 工匠寺番館・式番館

たくみちばんかん・にばんかん



寺番館では、区内の職人さんの作成した伝統工芸品の数々を展示、式番館では区内の職人さんの仕事場の再現や、道具や作業工程等の展示を行っています。

森下文化センター内

⑪ 小名木川

おなぎがわ



行徳の塩を江戸城へ運ぶため天正18年(1590)徳川家康によって開削されたといわれています。

⑫ 芝翫河岸

しかながし



江戸の文政年間、この地に舞台俳優の名優二代目中村芝翫、のちの四代目歌右衛門が住んでいたため、ここを芝翫河岸と言うようになりました。

常盤 2-15

⑬ 正木稲荷神社

まさきいなりじんじや



昔は「榎木」と書きました。榎の葉が腫れ物に効くということから、腫れ物が治るよう祈願した記録が残っているといわれます。

常盤 1-1-2

⑭ 高橋

たかばし



この橋の名前は通船と洪水への対応として橋脚が特に高かったことからつけられたといわれます。

⑮ 御船蔵跡

おふなぐらあと



石柱は、ここに幕府の艦船の倉庫があったことを示しています。江戸初期、幕府船安宅丸が停泊したことややがて深川安宅町となりました。

新大橋1付近

⑯ 纏のモニュメント

まといのゆめんと



そもそこの纏の原形は、江戸享保年間、八代将軍吉宗公の時代、「江戸町火消いろは 4 8 組、本所深川南・中・北 1 6 組」で纏が構成された折に、当地深川発祥の森下の地を火事などの災難から守るために、「深川中組内7組（しちのくみ）」の纏としてつくられたものです。

森下町交差点

■ バスのりば案内

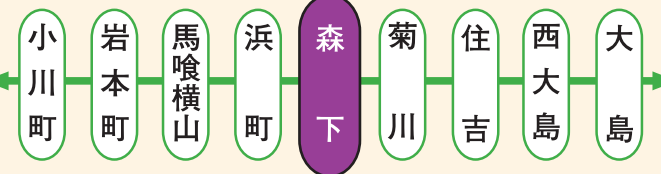


▼ 森下駅

昇降場	系統番号	行 き 先
①	錦11	錦糸町駅
	急行06	終点降車場(深川シャトル※下記参照)
②	錦11	築地駅
③	門33	亀戸駅
④	急行06	日本科学未来館(深川シャトル※下記参照)
	門33	豊海水産埠頭

■ 電車路線案内

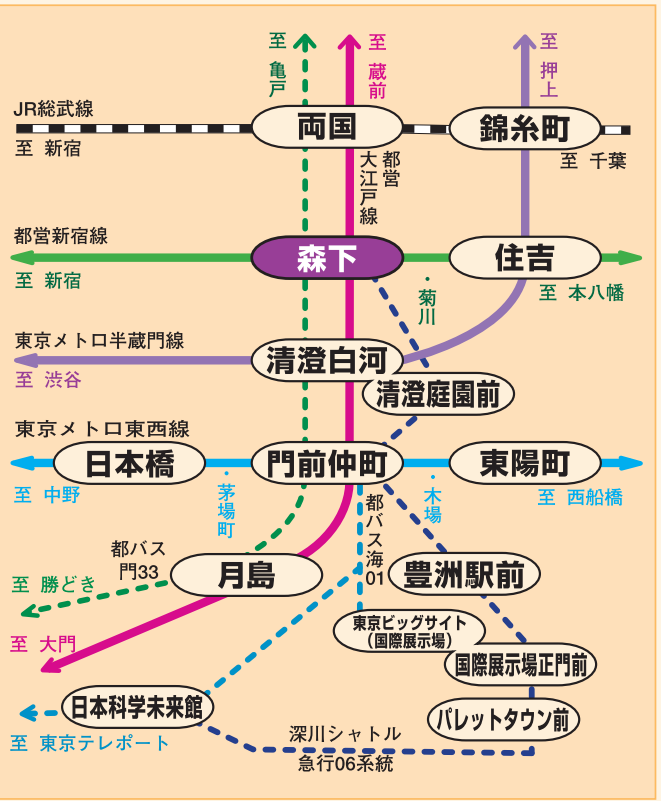
▼ 都営新宿線



▼ 都営大江戸線



■ 森下へのアクセス

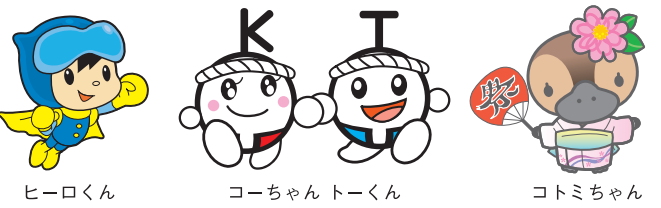


■ 深川シャトル

臨海副都心から江東区・深川へ直行便！

深川シャトルは、江東区が都交通局に委託して運行しています。**土・日・祝日**に日本科学未来館と森下を急行便としてわずか**30分**で結んでいます。深川地区と臨海部を結ぶアクセス手段としてご利用いただき、江東区の観光名所や魅力をお楽しみください。

江東区観光キャラクター



森下



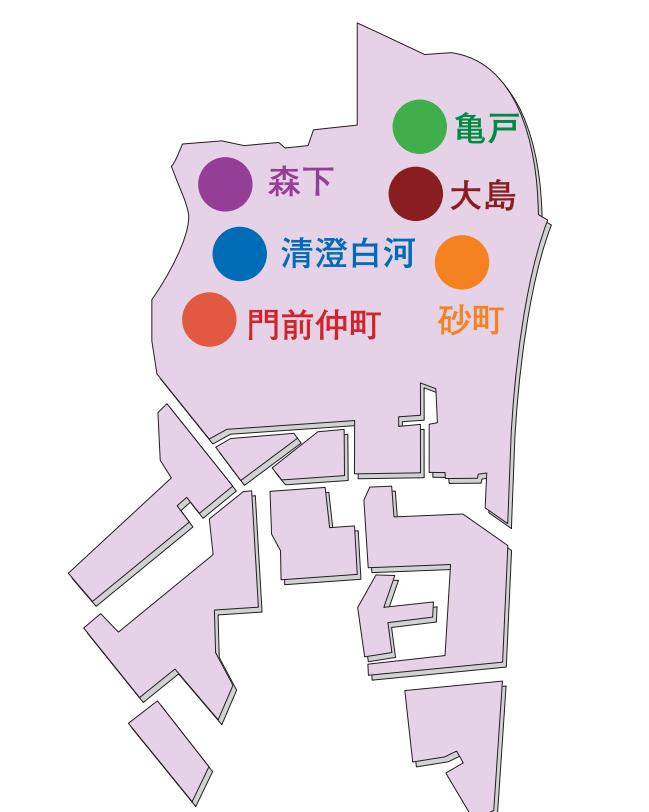
下町文化が息づく由緒ある地

森下

この町の西のほうに徳川家の譜代大名で庄内藩主の酒井左衛門尉の下屋敷がありました。この屋敷に深い森があったことが地名の由来となっています。

■森下ーもりした
この町の西のほうに徳川家の譜代大名で庄内藩主の酒井左衛門尉の下屋敷がありました。この屋敷に深い森があったことが地名の由来となっています。

■ 江東区MAP



MAP紹介

見どころいっぱいの下町ぶらりMAPは6種類
●森下 ●清澄白河 ●門前仲町 ●亀戸 ●砂町
●大島
その他
●江東区観光イラストマップをご用意しております。ぜひご覧ください。

観光に関するお問合せ

深川観光協会 電話 03(3643)0114
亀戸観光協会 電話 03(3685)0284（月・水・金曜のみ）
江東区役所 文化観光課 観光推進係 電話 03(3647)3312(直通)（平日のみ）

制作

深川発祥 代表 外山誠一郎 電話 03(3634)0321

3 2-B
ヤマ コシ
ミートシヨップ 山越
森下1-12-11 (3631)5730
お料理のアドバイザー お気軽に声をかけて下さい





〒135-0004
 江東区森下 1-15-1
 日修ビル II 1F
 03-5600-6815
 水曜日休

2-8



うなぎ・日本料理

ふじたや

ふ じ た や

2-8



営業時間：AM 11：30～PM 2：00
PM 5：00～PM 9：00

休 店 日：土曜

住 所：江東区森下1-14-5

連 絡 先：Tel 03-3631-1597

2-B
茶月は京都生まれの寿司屋です。
森下店

住所：江東区森下 1-12-7
 電話番号：03-3635-3399
 営業時間：10：00～21：00
 定休日：年中無休

2500 円より
 配達致します
 詳しくは
 お電話下さい

と

手打うどん

2-8

森下

京金

営業時間：AM 11：30～PM 8：30

休 店 日：月及び第三火・水

住 所：江東区森下2-18-2

☎ 連 絡 先：Tel 03-3632-8995



 元祖カレーパン 2-B

カトリア

営業時間：平日 7:00～19:00
祝日 8:00～18:00

休 店 日：日曜、月曜の祝日

住 所：江東区森下1-6-11

連 絡 先：03-3635-1464



を 3-B

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

森下一丁目店

〒135-0004 江東区森下1丁目5-5
電話 03-5625-3565

か 産地を厳選した焼きたての天津甘栗と
手包みの中華まん・手作り点心のお店

イシイの甘栗 森下店

住 所：江東区森下1-5-10

電話番号：03-3846-3545

営業時間：10：00～19：00

定休日：無休（7月～8月の間に限り水曜日定休）



た 3-B

ぼん太

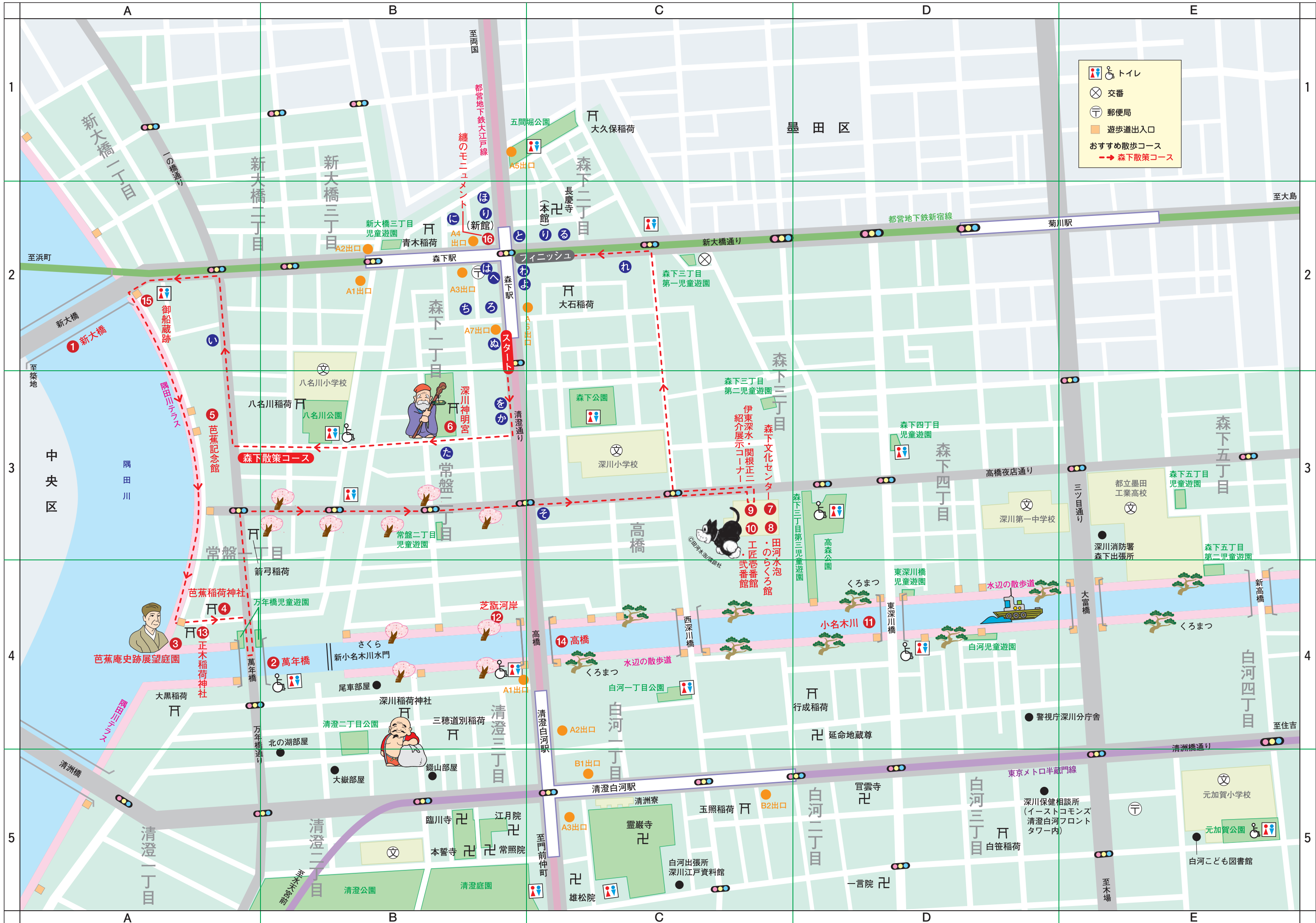
お好み焼・もんじゃ・鉄板焼

営業時間：77：30～22：00 (L.O.)

定休日：毎週水曜日

住所：江東区常盤2-8-4

連絡先：03-3635-2722





2-C

山利苑

營業時間：17：00～22：00
 休 店 日：日曜日・祝日
 住 所：森下2-18-8 (本館)
 森下1-14-6 (新館)
 連 絡 先：03-3633-1638 (本館)
 03-5625-6685 (新館)





2-C





営業時間：平日 12：00～14：00
 16：00～21：00
 休日 12：00～21：00

休 店：毎週木曜日
 (5～10月迄は第3水曜日も休み)

住 所：江東区森下2-19-9

連絡先：03-3631-8298

わ **2-8**
 肩・腰・膝の痛みご相談ください
 リラクゼーションマッサージ・鍼・灸
夜9時まで受付
もりした駅前接骨院
 休診日 日・祝・木曜午前中
 診療時間 午前 10:00~13:00 午後 15:00~21:00
 (土 15:00~18:00 まで)
 〒135-0004 江東区森下 2-17-2 川名ビル 1F
 TEL・FAX 03-6659-9230

ど

深川あさり餅とのらくろ焼 **2-B**

森下伊勢屋

営業時間：AM 9 : 30 ~ PM 8 : 30
休店日：火曜不定休
住所：江東区森下2-17-2
連絡先：Tel 03-3631-6064
Fax 03-3631-6129

れ

ちゃんこ板 深井

営業時間：17：30～22：30

休 店 日：日曜日、祝日

住 所：江東区森下2-14-4

連 絡 先：03-3846-0202